

# アイリス Letter

## 保護者の皆様へ

2020年12月18日発行  
第6号  
広島女学院中学高等学校



### 聖書のことば

天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」

ルカによる福音書 2章10～12節

2学期が終わりました。クリスマス・終業礼拝では、中学は16日に行われた讚美歌発表会において学年全員で讚美した課題曲の録画を見ることができました。また、高校では音楽部の文化祭代替発表会で讚美された『ハレルヤ』を聞くことができました。例年のクリスマス・終業礼拝のように一堂に集まることはできませんでしたが、生徒がつくるクリスマス礼拝の時間が持てたことを心から喜んでいきます。

コロナ禍により、休校から始まった2020年度でした。2学期も多くの行事ができなくなり、楽しいと思えることが少なかったことと思います。それでも、たくましく友達と笑いあう姿があり、生徒一人ひとりが『希望』であると改めて思いました。

12月といえばクリスマス。広島女学院にとって、とてもうれしい時です。それは、2000年前に羊飼いたちが聞いた天使のことばが、そのまま今の私たちに与えられているからです。イエス・キリストが歩まれた姿を見る時、特別な力や多くの富など、いわゆる「強い者」になることが必ずしも幸せではないと分かります。コロナ禍では、強くあることが決して安全や安心にはつながらないことを身をもって知りました。しかしその反面、弱い自分でも不安です。そんなわたしたちに、イエス様は、「恐れるな」という言葉を与えてくださっています。

2学期の最後になり、広島の感染状況が悪くなり、不安を覚える日が続きます。不安という言葉ばかりですね。イエス様がお生まれになったことを告げ知らされたときにも、羊飼いは非常に恐れたのです。しかし、この普通でない、不安の多い生活の中においては、実はとても大切なことに出会っている時なのかもしれません。

短い冬休みですが、体を守ることを第一に過ごしてください。1月7日の始業の日に感謝をもってみんなで集まりましょう。

(校長)



## キリスト教強調週間（11月16日～21日）

主題「神様リフレーミング～新生活様式をみ言葉で生きる～」、主題聖句「心を新たにして自分を変えていただく」（ローマの信徒への手紙12章2節）のもと、17日は通常の授業に替えて、主題講演と学年ごとの特別プログラムが実施されました。



主題講演講師の立野泰博先生（日本福音ルーテル広島教会牧師）は、昨年度も講師としてパレスチナ難民や、東日本大震災支援活動の経験をお話下さいました。今年は広島の教会に移動されており、他県の講師はお招きできない中、コロナに負けない希望を伝えていただきたいとお願いしました。講演では、「何のために生まれて何をして生きるのか？」というアンパンマンの主題歌を紹介して、人は幸せになるために生きているが、「何をしたら幸せになるのか」を考える上で、自分のフレーム（枠・見方）とは違うフレームで考えることの大切さを教えていただきました。

学生時代にフィリピンのスモークマウンテン（ゴミの山）で暮らす家庭にホームステイした時の体験から、「出されたものは残さずに食べるのが礼儀だと日本の感覚で考えていたが、フィリピンではお客さんにまず食べてもらってその残りが家族の食事だったのに、自分が全部食べたせいで子どもたちが食べられずにいたことを知った。また、そこでの礼拝で「貧しい人々は幸いである」（ルカによる福音書6章20節）を朗読するように頼まれて、貧しさがここの人たちの悲惨さの原因なのに読めないとしたら、『絶望的な状況だからこそ、後は希望しかない。イエスがそう言われた。そこに希望がある』と怒られた。今コロナ感染拡大の中で、厳しい状況に置かれているが、だからこそできること、見えてくることがある。それでも共にいること、神様とつながることを通して、希望を創造していこう」と語られました。

学年別活動では、「隣人と共に生きる」をテーマに、社会のさまざまな分野の講師の先生との出会いや具体的実践活動を通して考える時間を持ちました。

中学礼拝委員会では、『手塚治虫の聖書物語』を昼休みにホールで上映、『イエス・キリストを探せ』というゲームや、「神様はいると思いますか？」など先生方へのアンケートを実施しました。高校宗教委員会では、昼休みに放送で『音楽で元気に』『手作りマスクの作り方』『コロナ時代を生きるあなたへ（カトリック神父さんの対談）』『ハレルヤの秘密（星野晴夫先生へのインタビュー）』を流しました。



幼稚園に送る動画の劇作り

（高1学年別活動より）

21日（土）の閉会礼拝（放送）では、各学年の生徒代表が感想を発表し、それぞれが得たものを分かち合いました。詳細は学院報や年度末発行の小冊子『ガリラヤの風』にてご報告します。

コロナ禍の下、例年より特別プログラムの時間を短縮し、ホールでの講演も2学年ずつ、学年別活動における体験学習も一部縮小せざるを得ませんでしたが、今だからこそ受け取りたいメッセージをいただき、制限された中でやれることを見つけ、生徒のみなさんと共に“希望”を創り出せた1週間となりました。（宗教教育委員会）

## 高校スピーチ・プレゼンテーションコンテスト

11月24日(火)、第43回スピーチプレゼンテーションコンテストがゲーンズホールにて行われました。高1からは5名がスピーチを、高2・インターナショナル部門からはそれぞれ4名がプレゼンテーション形式で発表しました。今回は本校の英語科教員5名がジャッジとして参加し、例年にも増して緊張感のある中で実施されました。今年は状況が例年と異なる中で、早くから準備を始め、練習しにくい環境にも耐えながら、ひとりひとりができることを考え本番に臨んでくれました。思う通りにいかない場面もあったかと思いますが、それでも結果的に素晴らしい時間を一緒に過ごすことができました。真剣に耳を傾けた聴衆、進行を務めたエムシー、空間作りに尽力してくれた音響・照明係、そして何よりベストを尽くした発表者の皆さんにあらためて大きな拍手を送りたいと思います。

受賞者は以下の通りです。

【高1】Y. R (1-B) 【高2】M. M (2-C)

【インターナショナル部門】M. E (2-A)



(英語科)

## 冬休みの過ごし方について

今年も終えようとしています。冬休みの過ごし方について以下の点にお気をつけ下さい。

### ①コロナ感染防止について

- ・うがい手洗い、マスクの着用、外出時のマナー（密集しておしゃべりしない）、密を避けるなど、感染対策を継続的に徹底して下さい。
- ・登校の際は、必ずご家庭で検温し、フォーム入力を済ませてから登校して下さい。

### ②生活習慣について

- ・長期休暇中も起床時間・勉強開始時間・就寝時間の3点は固定させることが重要です。
- ・家に籠もることが多くなると、スマホ・PCの時間が増える傾向にあります。使用する場所や時間などをよく考え、依存に陥ることのないように気をつけて下さい。

いつもと違う一年でした。例年とは異なる年末年始になる人も多いかと思います。コロナ禍の影響で、大人も子どもも無意識的に様々なストレスを抱えていると言われていています。学校では多くの行事が中止となりましたし、対面して話すのにも気を遣う日々が続いています。

そこで生徒支援部として心配しているのは、面と向かって伸び伸びと自己発信する機会が減り、内へ内へと籠もってしまう傾向が強くなることです。現在、多くの「配慮」を求められる一方、「関わり」を求めて行動することが難しい環境になっています。ご家庭では安全の範囲内で、多く「会話」をして頂きたいと思います。パソコンやスマホの時間はセーブしつつ、顔を見ながら語り合う時間も大切に頂くことが心の健康にも繋がるかと思います。

在宅する時間が長くなる中、ネット依存の危険性が高まります。冬休みのネット依存が3学期の学校生活に大きな影響を及ぼす可能性もあります。特にオンラインゲームや動画視聴については特に依存性が高いようです。個人でPCを持っている学年も多いですが、あくまで「学びの道具」として利用できるよう自身をコントロールすることが重要です。ネットを「利用する」ことはあっても「のまれる」ことのないよう、例えばPCはリビングで使用する等、使用状況に応じてルールを設定・確認し、各ご家庭でも継続的な指導をお願いいたします。

家族で過ごすことの多い年末年始ですが、ご家族内でのコミュニケーションを密にして、よいお休みをお過ごしください。

(生徒支援部)

## 文化祭代替発表・展示会

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、残念ながら文化祭は中止となりました。しかし部活動で活躍する生徒の発表の場を設定したいということで、10月末から12月にかけて、文化祭代替発表・展示会を開催することになりました。このご時勢ですので観覧者は本校生徒・教職員とその部員の保護者・兄弟姉妹に限り、消毒も準備し、観客席でも密を避けるように呼び掛けました。また各部本来の発表・展示だけでなく、高校放送部は発表の司会で協力したり、中高新聞部はこの発表・展示会の様子を記事にして新聞を発行したりと、各部の個性を活かした参加形式もありました。

クラス発表や食品バザーもなく、例年の文化祭ほどの華やかさはなかったものの、例年の文化祭では各自の仕事があつて他の発表を見ることができなかった生徒達も、今年は友達のホール発表を見ることができました。また展示期間も長かったため多くの方が展示物を隅々まで見ることができて、例年とは違った形で楽しむことができたようです。来年はコロナも終息し、無事例年通りの文化祭ができることを願っています。

(高校生徒会顧問)

## 保健室だより (6)

冬らしい寒さとなってきました。今年は2学期が例年よりも長く、行事も減ったため、元気が出にくい日もあったのではないのでしょうか。「やる気が出ない」という声も聞きましたが、やる気は待っていても脳の中から出てきません。嫌々でもまずは手を動かしてみる、面倒でも動いてみるということが、やる気を出す一番の方法です。

冬休みだからと、だらだら生活をせず、「やる時はやる、休む時は休む」といったメリハリのある生活を心がけてくださいね。怪我や病気に気をつけて、穏やかな年末年始を過ごしましょう。そして3学期に元気に会いましょう。

(保健室)

## 心の健康 (6)

今年も最後の月となりました。秋に名残を惜しみつつ冬を迎え、日暮れが早く、暗い時間が長くなりました。寒さが増し、体調を崩しやすくなっています。期末テストや成績に一喜一憂し、クリスマスや年末年始の仕事の多忙さに心のバランスを崩しそうです。

良いこともあります。1つ1つの体験によって子どもの自主性が育っていくことを思うと、家庭生活の時間が長くなる冬は、親子で一緒に家事や行事を具体的にこなしていく中で、親の思いや生き方を子どもに伝えていく絶好のチャンスだとも言えます。親の姿勢に子どもはきっと家庭の中にホッとする暖かさを感じとるでしょう。そして家族と過ごしたロウソクの灯火(ともしび)のような暖かさを心の底に沈めて成長していくことでしょう。冬の家の中にはそういうチャンスがいっぱいです。

(カウンセラー)



## 生徒の活躍

◇ (コクヨ株式会社主催)

キャンパスアートアワード2020 地区優秀賞(中国・四国地区)

O. K (1-E)



◇ 中学放送部

広島市中学校放送コンテスト

テレビ番組部門 「2020 変化と向き合う 162 日」 第3位

朗読部門 H. A (3-3) 第6位

◇ 中3理科自由研究 優秀作品

理科では毎年、中3の1年間をかけて自由研究に取り組んでいます。今年も素晴らしいレポートがたくさん集まりました。優秀作品(37名)は広島市科学賞、旺文社サイエンスコンクール、筑波大学「科学の芽賞」に応募しています。広島市科学賞において、優良賞以上を受賞した生徒は以下のとおりです。

### 【広島市科学賞】

教育長賞 3-1 A. S 「卵殻を使った虫歯予防の実験」

優秀賞 3-2 Y. S 「遠くへよく飛ぶ折る紙飛行機とそうでない折る紙飛行機の差」

優秀賞 3-5 K. M 「なぜペットボトルのジュースを凍らせると最後は薄味になるのか」

優良賞 3-3 F. R 「接着強さ、接着条件の比較」

3-3 T. H 「天然酵母」

3-4 K. A 「虹ができる条件」

3-5 H. M 「摩擦力について」



12月6日(土)に行われた授賞式の様子

さらに、女学院の理科教員全員による選考を別で行い、結果や考察のまとめ方が特に優れていた以下の4名に、女学院より賞状と副賞(図書カード)を授与しました。

最優秀研究賞 3-2 Y. S

優秀研究賞 3-3 F. R

佳作 3-5 H. M、3-5 K. M

◇ 習字

広島東納税貯蓄組合連合会優秀賞 I. R (2-3)

令和2年度佐伯区交通安全児童生徒習字・標語コンクール 銀賞 N. K (3-5)



## 今月の聖句

闇の中を歩む民は、大いなる光を見  
 死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。……  
 ひとりのみどりごが  
 わたしたちのために生まれた。  
 ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。  
 権威が彼の肩にある。  
 その名は、「驚くべき指導者、力ある神  
 永遠の父、平和の君」と唱えられる。  
 イザヤ書9章1節、5節

旧約聖書のメシア（救い主）預言と言われ、  
 クリスマス礼拝の中で朗読される箇所です。

イザヤは今から2700年以上前、イエスが誕生する約700年前の預言者です。当時、聖書の民イスラエルは南北に分裂し、アッシリア、バビロニア、エジプトなど大国の脅威にさらされ、滅亡の危機に瀕していました。そのような厳しい歴史的現実のただ中で、大国や武力に依存しようとする指導者たちにイザヤが投げかけた言葉は、神の視点で自分たちの現実を見直すこと、まさに今回のキリスト教強調週間の「神様リフレーミング」ということでした。自らの罪に向き合うこと、あわてたり恐れるのではなく落ち着いて信頼すること、そして小さな幼子、強さではなく弱さを通して実現される神の救いの業＝究極の平和を信じること。まさにコロナ禍に右往左往する現在の私たちにも通じるメッセージではないでしょうか。

「クリスマス」とは、そのような暗闇の中に輝く「希望の光」を見出す時なのです。

(聖書科 T. M)

## 1月の行事予定表

1	金	元旦	
2	土	特別休暇	
3	日	特別休暇	
4	月	代休(入試:1月23日)	
5	火		
6	水		
7	木	始業の日 高3共通テスト対策授業 T 休み明けテスト(高1・2)	
8	金	(中3) 選択科目2号用紙提出	
9	土	高1・2駿台全国模試(希望者)	
10	日		
11	月	成人の日	
12	火		
13	水		[NC] [EP]
14	木	中3PTS(研修旅行)	
15	金		
16	土	保護者対象グローバル講演会 T 共通テスト	(L・総)
17	日	T 高2進研記述模試 高1進研記述模試	
18	月	共通テスト自己採点	
19	火	高3登校日 午前40分授業 午後50分授業 卒業記念礼拝 1限8:40~ 休み明けテスト素点確認	[NC][EP]
20	水	40分授業 放課後入試準備	
21	木	自宅学習日	
22	金	自宅学習日	
23	土	T (中) 入試 生徒休日	
24	日		
25	月	代休(入試:1月24日) 中3・Z会アドバンステスト(希望者) 国立公立大学2次試験出願(2月5日(金)まで)	
26	火		
27	水	月曜授業	[NC]
28	木		
29	金		
30	土	出校土曜日	(L・総)
31	日		

NC・・・ノークラブデイ

※行事予定は変更になることがあります。

